

科目名： 保育方法・技術 (必修4単位)		担当教員： 小山田佑奈	使用テキスト：
		担当形態： 単独	保育方法・技術の研究(ミネルヴァ書房)
科 目		道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	
施行規則に定める科目区分又は事項等		教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	
<p>授業の到達目標及びテーマ：</p> <p>幼稚園教育において育みたい資質・能力を理解し、幼稚園教育要領に示された当該領域のねらい及び内容について背景となる専門領域と関連させて理解を深めるとともに、幼児の発達に即して、主体的・対話的で深い学びが実現する過程を踏まえて具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身に付ける。</p>			
<p>授業目標：</p> <p>幼児一人ひとりの特性に応じた発達の課題を踏まえた指導の視点を捉えるとともに、保育内容・方法について理解する。また、保育内容を充実させるための手だてとして保育方法の技術(素話・絵本・指人形・ペープサート・折り紙製作・ストーリーテリング等)を実技及び全体討議を通して学生一人ひとりが身に付ける。</p>			
回	項 目	内 容	
1	オリエンテーション及び保育方法の基本とは何か	冒頭では授業の概要について説明を行う。また、保育方法の原理及び保育実践の魅力について学習する。	
2	乳幼児の理解と保育方法について	幼児の内面的な理解を踏まえ、これからの社会を担う子どもたちに求められる資質、能力は何かを探求し、そのための教育方法を考える。	
3	環境による保育とは何か	幼児にとって環境のもつ意味や環境を構成することの意味(ねらいや内容)、環境の再構成と保育の創造について学習する。	
4	子どもにふさわしい園生活の展開とは	幼児にふさわしい生活の展開とは何かを理解する。また、柔軟で多様な保育形態や一日の生活の展開について学ぶ。	
5	発達に時期に応じた保育の在り方	入園当初の保育、園生活に慣れてきた時期の保育、気の合う友だちと遊びを進める時期の保育、仲間と協力して生活する時期の保育、卒園を前にした時期の保育等、経験し身に付けていく内容や関連性について学ぶ。	
6	保育の計画と実践	指導計画とは何かまた、指導計画の実際や明日に生かされる記録など資料を参考にしながら理解を深める。また、実際に指導計画を立案してみる。	
7	子どもの情報活用能力及び情報モラルの育成	子どもたちが葉っぱなどをコンピュータグラフィックで描く等子どもの情報活用能力を養成する指導方法を学ぶ。また情報モラルの涵養の必要性と指導法を学ぶ。更に保育者のドキュメンテーションの大切も学ぶ。	
8	保育現場における情報機器の活用	園だよりやお知らせなど情報機器を駆使して作成する方法を学ぶ。また、情報機器を使った教材を作成し、発表する。	
9	行事を生かした保育の展開	園生活の中の行事とは何か、また、行事を計画する手順について学習する。また、「見せる」ことの問題点と意味や、行事が保育に生かされるということ、園生活が豊かになる行事について理解しながら保育構想の向上に取り組めるよう学習する。	
10	家庭・地域・小学校との連携を生かした保育	家庭との連携が生かされる保育、地域に開かれ地域との連携が生かされる保育、小学校との連携が生かされる保育について学ぶ。	
11	幼児理解に基づいた評価	各領域の特性に応じた保育実践の動向を知り、保育者の成長や保育に対する省察について理解を深める。幼児理解に基づいた評価とはどういうことかについて学ぶ。	
12	幼児の心を引き付ける(素	乳幼児と仲良くなり、幼児と保育者の信頼関係を築くための工夫・絵本の世界に入る前に・豊かな言葉の体験・子どもが絵本と出会う時・幼児期の絵本体験・絵本の	

	話・絵本)	絵と絵画、よい絵本とは？本物の絵本、絵を読む・絵本の与えてくれる楽しみ・「読み聞かせ」の仕方・「読み聞かせ」の演習・「読み聞かせ」の全体発表と評価について学ぶ。
13	幼児の心を引き付ける（指人形）	「指人形」の種類について・「指人形」づくり（目的、原理、製作法も含む）・「指人形」の演じ方・「指人形」のグループ毎の発表と評価について学び実践する。
14	幼児の心を引き付ける（紙芝居）	「紙芝居」のグループ製作（目的、原理、製作法も含む）・「紙芝居」の演じ方・「紙芝居」のグループ毎の発表と評価について学び実践する。
15	幼児の心を引き付ける（ペープサート）	「ペープサート」の目的、原理、製作法について・「ペープサート」のグループ製作・「ペープサート」の演じ方・「ペープサート」のグループ毎の発表と評価について学び実践する。
16	幼児の心を引き付ける (年齢別折り紙)	各月、各年齢別（発達段階を踏まえて）の折り紙指導・ストーリーテリング及び工夫、発展性のある作品づくり・幼稚園教育要領と保育所保育指針と考え併せて・4・5月の製作指導（3・4・5歳児）導入及び作り方を学習し、保育実践の動向を知り、保育構想の向上に取り組めるよう理解を深める。
17	〃	4・5月の作品発表（3・4・5歳児）・臨床美術の観点から、それぞれの作品鑑賞と意見交換をする。
18	〃	6・7月の製作指導（3・4・5歳児）導入及び作り方を学ぶ。
19	〃	6・7月の作品発表（3・4・5歳児）・臨床美術の観点から、それぞれの作品鑑賞と意見交換をする。
20	〃	8・9月の製作指導（3・4・5歳児）導入及び作り方を学ぶ。
21	〃	8・9月の作品発表（3・4・5歳児）・臨床美術の観点から、それぞれの作品鑑賞と意見交換をする。
22	〃	10・11月の製作指導（3・4・5歳児）導入及び作り方を学ぶ。
23	〃	10・11月の作品発表（3・4・5歳児）・臨床美術の観点から、それぞれの作品鑑賞と意見交換をする。
24	〃	12・1月の製作指導（3・4・5歳児）導入及び作り方を学ぶ。
25	〃	12・1月の作品発表（3・4・5歳児）・臨床美術の観点から、それぞれの作品鑑賞と意見交換をする
26	〃	2・3月の製作指導（3・4・5歳児）導入及び作り方を学ぶ。
27	〃	2・3月の作品発表（3・4・5歳児）・臨床美術の観点から、それぞれの作品鑑賞と意見交換・各年齢毎（3・4・5歳児）・5歳児）の作品12か月分に表紙をつけてまとめる。
28	折り紙作品のまとめ	臨床美術の観点から表紙も含めてそれぞれの作品を鑑賞し、作品の出来栄え、ストーリー、発表の仕方についての意見交換をする。
29	模擬授業	各自の指導案に基づき幼児の五感に訴える自己紹介のための具体物の作成をする。
30	〃	各自の指導案に基づき具体物を使つての模擬授業、全体討議・研究をする。
	期末試験	
参考書：参考資料： 幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領、本学院保育科卒業生の作品例、ザ・ペープサート、楽しい折り紙、指人形の作り方、紙芝居の作り方その他必要に応じて参考資料より抜粋の資料やプリント等配布		
学生に対する評価方法： 期末試験、作品、作品発表、授業態度を総合的に評価する。		
【小山田佑奈】 認定こども園東奥幼稚園 元教諭		

